

エコアクション21 (EA21)

環境経営レポート

2019年度
(2019年2月～2020年1月)



作成 : 2020年 4月 30日



株式会社 小名木川ギヤー



認証・登録番号 0004209

承認	作成
岩崎 (厚)	岩崎

I. 組織の概要

会社概要

1. 事業所名及び代表者

株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役社長 岩崎 厚三

2. 所在地

本社; 〒135-0003 東京都江東区猿江1丁目2番7号
TEL 03-3631-0037(代)
FAX 03-3635-0868
E-mail ong@green.ocn.ne.jp
千葉工場; 〒299-4111 千葉県茂原市萱場1525番地
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp
大網分工場; 〒299-3251 千葉県大網白里市大網1803番地
TEL 0475-73-1816
FAX 0475-71-2063

3. EA21責任者・連絡先

管理責任者 専務取締役 佐藤 博
連絡先 環境事務局 担当課長 岩崎 洋明
TEL 0475-34-4536(代)
FAX 0475-34-4568

E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp
E-mail h_iwasaki@onagigawa.co.jp

4. 事業の規模

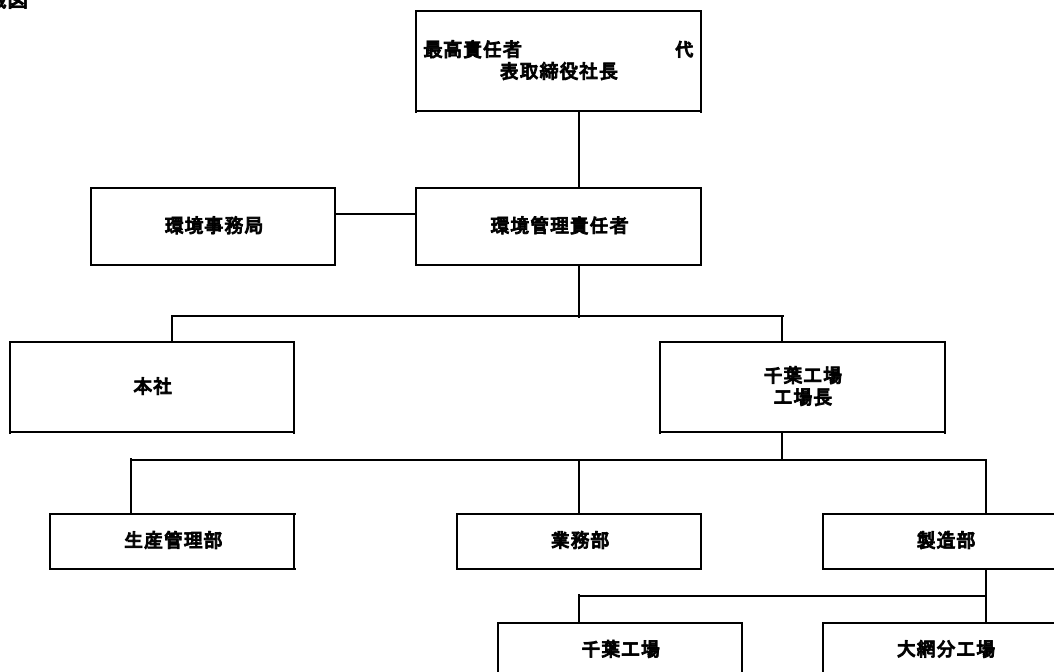
従業員数 89名 (2019年 1月)
売上高 1,967百万円 2019年度(2019年2月～2020年1月)
敷地面積 本社 366 m²
千葉工場 8,198 m²
大網分工場 968 m²
床面積 本社 195 m²
千葉工場 3,126 m²
大網分工場 1,285 m²

5. 環境負荷の実績 (全社合計)

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	百万円	2,141	2,080	1,967
生産数量	トン	3,530	3,856	2,986
従業員数	人	89	89	89
電気使用量	kWh	1,800,443	1,86,072	1,653,421
軽油使用量	ℓ	35,653	35,166	32,820
灯油使用量	ℓ	30,451	27,013	24,361
ガソリン使用量	ℓ	21,096	24,765	21,462
LPG使用量	kg	1,421	1,203	595
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	888	1,322	1,175
一般廃棄物排出量	トン	21	21	23
産業廃棄物排出量	トン	304	339	248
水使用量	m ³	1,575	1,505	1,312

6. 環境経営システム

(1) 組織図



(2) 責任と権限

社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 環境レポートの発行責任者
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 4. 環境レポートの作成責任者
EA21事務局	1. 環境経営システムの手続き等を実行 2. 契約業務等事務処理、環境活動からのデータ収集
部門長	1. 部門の環境活動の責任者 2. 自部門の実施状況を日常的に点検し、改善を指導する
工場長	1. 工場における現場指揮及び実績管理 2. ライン運転、製造、保管及びEA21活動現場責任者
従業員	1. 自部門の目標を実行し、改善に努める

II, 対象範囲

1. 対象事業所： 本社, 千葉工場, 大網分工場
2. 事業活動： 歯車の製造

Ⅲ、環境方針

基本理念

我らの地球を守ろう！

当社は、地球環境保全が全人類にとって最大重要課題であることを深く認識し、事業活動のすべての面で環境に配慮した行動に努め、同時に地域社会との調和を保ちながら事業を推進・発展させていくことを目指します。

基本方針

1. 歯車製造の事業活動を通じて環境経営システムを構築し、人と地球に優しい事業活動の推進と環境負荷の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の防止と環境保全に努めます。
3. 当社が行なう環境活動は、以下を重点的に行っていきます。
 - 1) 工場、事務所内での省資源・省エネルギーの取り組み。
 - 2) 生産活動にともなう加工不良、廃棄物、排出物の削減。
 - 3) 節水、切削油・灯油等の管理強化。
 - 4) 化学物質削減、若手社員の技術力向上及び技術伝承。
 - 5) 調達品のグリーン購入。
4. 本方針に基づき環境目標を定め、環境活動計画に従って自主的かつ積極的な活動を展開するとともに、必要があれば環境方針の見直しを実施します。
5. 本方針を従業員および協力企業に周知するとともに、当社の活動を示した活動レポートを作成し、社外に公表します。

制定 2010年 1月 27日
改定 2018年 2月 1日
株式会社 小名木川ギヤー
代表取締役 岩崎 厚三

IV. 環境経営目標

1. 2017年度～2019年度中期3ヵ年計画（当初計画）

（2017.2.1制定）

項目	単位	2016年度 （基準値）	2017年度 （目標値）	2018年度 （目標値）	2019年度 （目標値）
電気使用量（本社）	kWh/年	10,989	99% 10,879	98% 10,769	97% 10,659
電気使用量（千葉工場）	kWh/年	1,403,376	119% 1,676,500	116% 1,627,500	112% 1,578,500
	kWh/生産量	504	479	465	451
電気使用量（大網分工場）	kWh/年	212,722	122% 259,000	118% 252,000	115% 245,000
	kWh/生産量	76	74	72	70
電気使用量（全社合計）	kWh/年	1,627,087	120% 1,946,379	116% 1,890,269	113% 1,834,159
	kWh/生産量	584	556	540	524
灯油使用量	L/年	31,283	122% 38,150	121% 37,800	120% 37,450
	L/生産量	11.23	10.90	10.80	10.70
軽油使用量	L/年	34,388	122% 41,930	121% 41,650	120% 41,300
	L/生産量	12.35	11.98	11.90	11.80
ガソリン使用量	L/年	14,357	141% 20,300	141% 20,300	141% 20,300
	L/生産量	5.16	5.80	5.80	5.80
LPG使用量	L/年	1,450	126% 1,820	126% 1,820	126% 1,820
	L/生産量	0.52	0.52	0.52	0.52
温室効果ガス排出量（注）	kg-CO ₂ /年	806,877	121% 976,434	118% 954,112	115% 931,607
	kg-CO ₂ /生産量	290	279	267	247
水使用量（全社計）	m ³ /年	1,168	126% 1,467	126% 1,467	126% 1,467
	m ³ /生産量	0.419	0.419	0.419	0.419
一廃排出量	kg/年	20,805	126% 26,145	125% 25,970	124% 25,900
	kg/生産量	7.47	7.47	7.42	7.40
産廃排出量	t/年	199	125% 249	125% 249	125% 249
	t/生産量	0.071	0.071	0.071	0.071
生産量	t/年	2,785	126% 3,500	126% 3,500	126% 3,500
化学薬品管理	%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入	%	100%	100%	100%	100%

注：電力のCO₂排出係数は本社は0.463kg-CO₂/kWh(東電)、その他は0.369kg-CO₂/kWh(リコージャパン)を使用

中期計画の主要なポイント

- ① 生産量は先行き不透明ですが2016年度実績の26%増の3,500トン为目标にします。
- ② 本社の電気は毎年1%削減、工場の電気、灯油、軽油及び産廃は毎年原単位を削減します。
- ③ ガソリンは2017年度40%増加とし、その後は同量を維持します。
- ④ 水は2016年度原単位を維持します。
- ⑤ 一廃は2017年度は前年維持とし、その後は原単位を削減とします。
- ⑥ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

2. 主要な環境活動の内容

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
10	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認



2019年度環境目標の見直し

(2019.2.1制定)

項目	単位	2016年度 基準値	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2019年度 初目標値	2019年度 定目標値
電気使用量(本社)	kWh/年	10,989	10,934	10,499	10,659	10,394
電気使用量(千葉工場)	kWh/年	1,403,376	1,541,324	1,595,835	1,578,500	1,611,793
	kWh/生産量	504	437	414	451	414
電気使用量(大網分工場)	kWh/年	212,722	248,185	258,738	245,000	261,325
	kWh/生産量	76	70	67	70	67
電気使用量(全社合計)	kWh/年	1,627,087	1,800,443	1,865,072	1,834,159	1,883,513
	kWh/生産量	584	514	484	524	484
灯油使用量	L/年	31,283	30,451	27,013	37,450	27,255
	L/生産量	11.23	10.80	7.01	10.70	7.00
軽油使用量	L/年	34,388	35,653	35,166	41,300	35,470
	L/生産量	12.35	11.90	9.12	11.80	9.11
ガソリン使用量	L/年	14,357	22,000	24,765	20,300	24,958
	L/生産量	5.16	6.23	6.42	5.80	6.41
LPG使用量	L/年	1,450	1,421	1,203	1,820	1,168
	L/生産量	0.52	0.40	0.31	0.52	0.30
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO ₂ /年	806,877	887,551	1,310,008	931,607	1,503,453
	kg-CO ₂ /生産量	290	267	340	266	386
水使用量(全社計)	m ³ /年	1,168	1,324	1,505	1,467	1,480
	m ³ /生産量	0.419	0.419	0.39	0.42	0.38
一廃排出量	kg/年	20,805	21,559	21,054	25,900	21,220
	kg/生産量	7.47	7.42	5.46	7.40	5.45
産廃排出量	t/年	199	256	339	249	339
	t/生産量	0.071	0.073	0.088	0.071	0.087
生産量	t/年	2,785	3,529	3,855	3,500	3,894
化学薬品管理	%	100%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入	%	100%	100%	100%	100%	100%

注:電力のCO₂排出係数は本社は0.463kg-CO₂/kWh(東電)、その他は0.369kg-CO₂/kWh(リコージャパン)を使用

2019年度環境目標改定の主要なポイント

- ① 生産量を2018年度実績の1%増加とします。
- ② 本社の電気使用量は2018年度の1%減とします。
- ③ 工場の電気使用量は2018年度原単位実績を維持します。
- ④ 灯油、軽油、ガソリン、LPG、水、一廃、産廃は2018年度原単位を0.01削減します。
- ⑤ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

V. 2019年度における環境目標とその実績

1. 2019年度環境活動実績

評価 ◎:110%以上達成、○:100%～109%達成、△:97%～99%達成、×:96%以下

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価	コメント
電気使用量(本社)	kWh/年	10,394	8,933	116%	◎	節電を徹底した。
電気使用量(千葉工場)	kWh/年	1,611,793	1,424,567	113%	◎	生産量減少に伴い電気使用量は減少した。
	kWh/生産量	413.92	477.08			
電気使用量(大網分工場)	kWh/年	261,325	219,921	119%	◎	生産量減少に伴い電気使用量は減少した。
	kWh/生産量	67.11	73.65			
電気使用量(全社合計)	kWh/年	1,883,513	1,653,421	114%	◎	生産量減少に伴い電気使用量は減少した。
	kWh/生産量	483.70	553.72			
灯油使用量	L/年	27,255	24,361	112%	◎	設備稼働の減少で灯油ストーブ使用も減少した。
	L/生産量	10.80	8.16			
軽油使用量	L/年	35,470	32,820	108%	○	生産数量の減少で運搬車両の使用も減少した。
	L/生産量	9.11	10.99			
ガソリン使用量	L/年	24,958	21,462	116%	◎	生産数量の減少でフォークリフトと営業車の使用も減少した。
	L/生産量	6.41	7.19			
LPG使用量	kg/年	1,168	595	196%	◎	給湯施設やシャワー施設の適正利用が徹底した。
	kg/生産量	0.40	0.20			
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	1,503,453	1,175,452	128%	◎	生産数量の減少でエネルギー使用量が減少した。
	kg-CO2/生産量	386.09	393.65			
水使用量	m ³ /年	1,480	1,312	113%	◎	節水を徹底した。
	L/生産量	0.38	0.44			
一廃排出量	kg/年	21,220	22,603	94%	×	廃棄物の分別が進まなかった。
	kg/生産量	5.45	7.57			
産廃排出量	t/年	339	248	137%	◎	産廃の分別徹底で目標を達成した。
	t/生産量	0.087	0.083			
生産量	t/年	3,894	2,986	77%	×	中国経済の影響で国内大手得意先の生産がストップし受注が減少した
化学薬品管理	%	100	100	100%	○	PRTR物質の購入量を把握した。
グリーン購入	%	100	100	100%	○	事務用品を中心に環境配慮製品を購入した。

注:電力のCO2排出係数:目標値は本社は0.463kg-CO2/kWh(東電)、工場はオリックスの0.680CO2/kWhを使用。

実績では本社の2月-8月は0.462kg-CO2/kWh(東電)、9月以降はイーレックスの0.611kg-CO2/kWhを使用。

工場部門の2月~10月はオリックスの0.574kg-CO2/kWh、11月以降はイーバーグリーン0.652kg-CO2/kWhを使用。

2. 2019年度主要な環境活動の結果

No.	項目	活動内容	評価
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)	○
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)	
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)	
		④エア配管系のエア漏れ点検修理	
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)	○
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	
		③洗浄油再利用の活性化	
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)	○
		②社有車の計画的運行	
		③省エネ社有車の導入	
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)	○
		②エコドライブの遵守	
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	○
		②手洗い等のお湯使用時の節約	
6	二酸化炭素排出量	①節電活動	○
		②エコドライブの遵守	
		③灯油、LPGの適正使用	
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更	△
		②コピーの縮減、裏紙利用促進	
		③分別励行による可燃物縮減	
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル	△
		②廃棄物の分別徹底	
		③廃棄物発生源対策立案と実施	
		④破損パレット返却励行	
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け	○
		②朝礼等にて啓蒙活動	
10	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定	○
		②納入品のグリーンマーク確認	

評価:◎大変良く実施した。○良く実施した。△まだ改善の余地がある。×活動に不足がある。

2019年度環境目標及び環境活動達成状況の主要なポイント

【環境目標の達成度】

- ① 生産量は中国経済の煽りを受けて前年比77%、目標比でも77%でした。
- ② 電気使用量は節電や工場機械稼働減少で目標を達成しました。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは使用量の節約や生産数量減で目標を達成しました。
- ④ CO2排出量は生産数量減でエネルギー使用量が減少し目標を達成しました。
契約電力会社の変更によりトータル電気料金は減少しました。
- ⑤ 水は節水で目標を達成しました。
- ⑥ 一廃は分別が進まず目標未達成でした。一方、産廃は分別の徹底で目標を達成しました。
- ⑦ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価しました。

【環境活動の達成度】

- ① 廃棄物への取り組みを除いて、その他のテーマは良好でした。

VI, 環境保全活動取組結果の評価と次年度取組みについて

1. 2020年度～2022年度中期3か年計画

2020年2月1日制定

項目	単位	2019年度 (基準値)	2020年度 (目標値)	2021年度 (目標値)	2022年度 (目標値)
電気使用量(本社)	kWh/年	8,933	100% 8,933	100% 8,933	100% 8,933
電気使用量(千葉工場)	kWh/年	1,424,567	90% 1,282,078	90% 1,289,051	90% 1,282,024
	kWh/生産量	477.08	477.10	532.89	588.89
電気使用量(大網分工場)	kWh/年	219,921	90% 197,900	90% 197,873	90% 197,846
	kWh/生産量	73.65	73.65	81.80	90.88
電気使用量(全社合計)	kWh/年	1,653,421	90% 1,488,911	90% 1,488,857	90% 1,488,804
	kWh/生産量	553.72	554.10	615.48	683.88
灯油使用量	L/年	24,361	90% 21,929	90% 19,731	90% 17,762
	L/生産量	8.16	8.16	8.16	8.16
軽油使用量	L/年	32,820	90% 29,535	90% 26,582	90% 23,929
	L/生産量	10.99	10.99	10.99	10.99
ガソリン使用量	L/年	21,462	90% 19,322	90% 17,390	90% 15,651
	L/生産量	7.19	7.19	7.19	7.19
LPG使用量	L/年	1,105	90% 994	90% 894	90% 805
	L/生産量	0.37	0.37	0.37	0.37
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO ₂ /年	1,175,452	109% 1,286,489	111% 1,299,123	112% 1,311,757
	kg-CO ₂ /生産量	393.65	478.80	537.05	602.55
水使用量(全社計)	m ³ /年	1,312	90% 1,182	90% 1,064	90% 957
	m ³ /生産量	0.44	0.44	0.44	0.44
一廃排出量	kg/年	22,603	90% 20,344	90% 18,310	90% 16,474
	kg/生産量	7.57	7.57	7.57	7.57
産廃排出量	t/年	248	90% 223	90% 201	90% 181
	t/生産量	0.08	0.08	0.08	0.08
生産量	t/年	2,986	90% 2,687	90% 2,419	90% 2,177
化学薬品管理	%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入	%	100%	100%	100%	100%

注：電力のCO₂排出係数：目標値は本社はイーレックスの0.611kg-CO₂/kWh、工場はエバーグリーン0.652kg-CO₂/kWhを使用。

2. 主要な環境活動の内容

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
10	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認

2020年度～2022年度 環境目標及び環境活動策定の主要なポイント

【環境目標】

- ① 生産量は景気回復の見通しが立たないが2019年度実績を毎年1%増加とします。
- ② 電気使用量は本社は現状維持、工場は2019年度原単位実績を毎年0.01削減とします。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは2019年度原単位実績を維持とします。
- ④ CO2排出量の電力分は2019年度契約電力会社の排出係数で算出しました。
- ⑤ 水は2019年度原単位実績を維持とします。
- ⑥ 一廃、産廃は2019年度原単位実績を維持とします。
- ⑦ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価しました。

【環境活動計画】

- ① テーマ毎の主な活動は前年度までの内容を継続します。
- ② 環境管理責任者によるエコパトロールを3ヶ月毎に実施し活動状況をチェックします。

VII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 法規制遵守の適合性と評価

1. 環境関連法規制について、遵守確認の結果、問題はありませんでした。
2. 過去3年間行政からの指摘や是正等の指導及び住民からの苦情はありません。
3. 当社に適用される主な環境法規は下記の通りである。
 - * 廃棄物処理法
 - * 資源有効利用促進法
 - * 特定家庭用機器再商品化法
 - * 家電リサイクル法
 - * 自動車リサイクル法
 - * 建設リサイクル法
 - * 騒音規制法
 - * 振動規制法
 - * 千葉県生活環境保全等に関する条例
 - * 消防法
 - * 自動車NOxPM法
 - * オフロード法
 - * 道路運送車両法
 - * 道路交通法
 - * 労働安全衛生法
 - * フロン排出抑制法
 - * 浄化槽法
 - * 水質汚濁防止法

VIII 代表者による全体評価と見直しの結果

2019年度は生産量の減少で、電気・軽油・灯油・ガソリン・LPGの使用量目標は達成しました。又、水の使用量も目標を達成し、節電・エコドライブ・節水活動が浸透していることを確認しました。しかし、一般廃と産廃は機械の入替えに等に伴い排出量が増加し目標未達成でした。廃棄物の分別・再資源化については今後も改善を図りたいと思います。2020年度からは新たな3ヶ年計画に基づき環境目標の達成に向けて全員一丸となって取り組みます。

- | | |
|------------|------------------------|
| ① 環境方針 | 変更無し |
| ② 環境目標 | 2020年度は改定した環境経営目標に取り組む |
| ③ 環境活動計画 | 変更無し |
| ④ 環境経営システム | 変更無し |